

「ひらがなに興味をもつきっかけ作り」

大五京・大五洋では、3歳児クラスにおいて、普段の保育の中で文字のある環境づくりに努め、自然に子ども達が文字（ひらがな）に興味を持ち、生活の中で覚えられるようにきっかけ作りをしています。

「あいうえお表」を見ながら、順番に「あいうえお、かきくけこ・・・」と声を出して読んでいても、実際ランダムに「あ・お・い・う・え・・・」と文字を指すと読めてない事が多々あります。

これは、「あいうえお・・・」を音として暗唱しているだけであって、文字の形と一致して読めているわけではありません。

この形が「あ」なのか、、と理解させるためには、決して教え込むのではなく、子ども達の興味が向くようにあらゆるきっかけ作りが大切です。

例えば、お家でもお子さまが大好きな絵本を読み聞かせする時に、一緒に指さして文字を追いながら読んでみましょう。

大好きな絵本であれば、ストーリーも理解しているので、文字の形と音が一致している事に気づけるきっかけとなります。

また、街中で見かけた看板や、お店に貼られたPOP、道路の標識などの文字と一緒に読むのもおすすめです。

お子さまの方から「これ、何て読むの？」という聞いてきたら、絶好のチャンスです。

この興味こそが次へと繋がるきっかけになります。

どの方法も、文字の形と音が一致する事が分かる「音韻意識」がポイントです。

好きなおもちゃ、食べ物、動物・・・何がスタートでも大丈夫！

音と形、一つの一致からたくさんの知識に広がっていきますよ。